

1. 物質/製剤及び会社/企業の識別

1.1 製品名

Rexxip® (共通シート)

以下の共通シート:

Rexxip A, Rexxip A-max, Rexxip AN, Rexxip AN-max, Rexxip H, Rexxip H-max, Rexxip HN, Rexxip HN-max, Rexxip CCS, Rexxip F, Rexxip ADA, Rexxip HX & Rexxip HX-max

品目番号

P0004820, P0004821, P0004994, P0004995, P0004822, P0004823, P0004996, P0004997, P0004824, P0004825, P0020027, P0020033 & P0020034

1.2 物質又は混合物に関連する確認された用法と使用しないよう忠告される用途

研究用化学物質、研究用。

1.3 安全性データシートの供給者の詳細

会社名:	ジャイロス・ジャパン株式会社
住所:	東京都中央区日本橋本石町 2-1-1 アスパ日本橋
電話:	03-3246-7441
ファックス:	03-3246-7442
メールアドレス:	infoJP@gyrosproteintech.com
製造元:	Gyros Protein Technologies AB
製造元住所:	Uppsala Science Park, SE75183 Uppsala, Sweden
製造元電話:	+46 18-566 300
製造元メールアドレス:	information@gyrosproteintech.com
ウェブサイト:	www.gyrosproteintech.com

2. 危険有害性の識別

2.1 CLP に準拠する物質又は混合物の分類 (指示書 1272/2008/EC) :-

2.2 ラベルの要素

CLP に準拠するラベリング (指示書 1272/2008/EC)

製品には、現行の形態又は濃度では、現行の法律に準拠したラベリング表示をもたらすいかなる物質も含まれていない。

2.3 その他危険有害性

知られていない。

3. 組成/成分情報

3.2 混合物

CLP に準拠するラベリング (指示書 1272/2008/EC)

製品には、現行の形態又は濃度では、現行の法律に準拠したラベリング表示をもたらすいかなる物質も含まれていない。

防腐剤として<0.02%のアジ化ナトリウム (CAS 26628-22-8) 及び<0.02 %の5-ブロモ-5-ニトロ-1,3-ジオキサン (CAS 30007-47-7) が添加されている。又、ウシ血清と牛乳に由来する成分も含まれている場合がある。これらのコンポーネントは、十分に管理されたソース/メーカーから入手している。

4. 応急措置

4.1 応急措置の説明

一般的な推奨事項

被害者を温かく、静かな状態に保つこと。意識のない人には絶対に口から何かを与えてはならない。不確かな場合、又は症状が続く場合には医師に相談すること。この SDS を医療支援者に見せること。

吸入した場合

新鮮な空気を供給し、休息させること。症状が続く場合には医師に相談すること。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗うこと。

眼に入った場合

流水下で眼を開けた状態で、数分間洗い流すこと。眼を閉じず、開けていること。コンタクトレンズを着用している場合は外すこと。症状が続く場合には医師に相談すること。

経口摂取した場合

口を流水ですすぐこと。グラスに数杯の水を飲ませること。症状が続く場合には医師に相談すること。

4.2 急性と遅延の両方の最重要な症状と影響

-

4.3 医学的措置及び特別な処置が直ちに必要とされる兆候

-

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

周囲の火災に適した消火剤を選択すること。

5.2 物質又は混合物に起因する特別な危険有害性

非可燃性の製品。火災の際に煙の吸入を避けること。

5.3 消防隊員へのアドバイス

呼吸装置を含む化学火災に適した保護具を着用すること。

6. 偶発的流出時の措置

6.1 個人の注意、保護装置及び緊急時の措置

この SDS のセクション 8 に従って保護具を使用してください。

6.2 環境上の注意

下水/地表水や地下水に入り込まないようにすること。大きく流出してしまった場合、緊急サービスに通知すること。

6.3 封じ込め及び清掃方法及び材料

液体を結合する物質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能結合剤、おがくず）で吸収すること。閉じ込め可能なラベル表示された回収容器に移し、適切な方法で処分すること。セクション 13 を参照のこと。

6.4 その他参照セクション

保護装置と廃棄取扱いに関しては、本 SDS のセクション 8 及び 13 を参照のこと。

7. 取扱いおよび保管上の注意：

7.1 取扱い上の注意事項

本 SDS のセクション8に従って保護装置を使用すること。製品使用後は手を洗うこと。本製品使用時に飲食はしないこと。

7.2 不一致を含む、安全な保管上の条件

食品の近くに保管しないこと。保管温度 +4 から +8°C。凍結から保護すること。

7.3 特定の最終使用

本 SDS のセクション 13 の EWC コードを参照のこと。

8. 暴露防止/保護措置

8.1 制御パラメータ

職業上の暴露限界値（指示 § 91/322 / EEG、2000/39 / EG 及び 2006/15 / EG に準拠）

本製品に適用される数値はない。

PNEC

データはない。

DNEL

データはない。

暴露制御

呼吸器の保護

通常は不要。

手の保護

ほとんどのプラスチック/ラバー製手袋が適している。侵入時間は厚み、用途とソースによる。手袋は頻繁に取り換えること。保護装置のさらなる詳細に関しては、供給業者にお問い合わせください。

眼/顔面の保護

すべての実験室用化学物質を扱う際には、飛沫防護用安全眼鏡又はゴーグルを使用すること。

皮膚の保護

実験用白衣又はオーバーオール。

衛生措置

職場では飲食、喫煙はしないこと。汚染された衣類はすべて脱ぐこと。休憩前と作業終了時には、手と顔を洗うこと。

9. 物理的データと化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

(a) 外観	透明な液体
(b) 臭い	なし
(c) 悪臭の閾値	利用可能な情報はない
(d) pH	7, 35-7, 45
(e) 融点/ 凝固点	利用可能な情報はない
(f) 初期沸点と沸騰範囲	利用可能な情報はない
(g) 引火点	利用可能な情報はない
(h) 蒸発速度	No information available
(i) 可燃性 (気体、固体)	なし
(j) 上限/下限可燃性又は爆発性	なし
(k) 蒸気圧	なし
(l) 蒸気密度	利用可能な情報はない
(m) 相対密度	利用可能な情報はない
(n) 溶解度	水に完全に溶解する
(o) 分配係数: n-オクタノール/水	なし
(p) 自然発火温度	なし
(q) 分解温度	なし
(r) 粘性	利用可能な情報はない
(s) 爆発特性	なし
(t) 酸化特性	なし
含水量	製品により、84-98% の含水量
固形分	製品により、2-16% の含水量
VOC	0

9.2 その他情報

-

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

通常取り扱い及び保管条件下では安定である。

10.2 化学安定性

通常の状態での取り扱いと保管では安定。

10.3 危険有害性反応性の可能性

通常取り扱い及び保管条件下では安定である。

10.4 避けるべき状態

凍結から保護すること

10.5 不適合性 (避けるべき物質)

特になし。

10.6 危険有害性分解生成物

特になし。

11. 毒物学的情報

毒物学的影響の情報

	急性の影響	慢性の影響
皮膚に付着した場合	-	-
眼に入った場合	-	-
吸入	-	-
摂取	-	-

急性毒性

そのままの生成物用毒物学的データ

データはない。

含有されるコンポーネント用毒物学的データ

製品には、現行の形態又は濃度では、現行の法律に準拠したラベリング表示をもたらすいかなる物質も含まれていない。

(a) 急性毒性

製品には、現行の形態又は濃度では、現行の法律に準拠したラベリング表示をもたらすいかなる物質も含まれていない。

(b) 皮膚腐食/刺激

腐食性/刺激性の影響は知られていない。

(c) 重篤な眼の薬傷/刺激

影響は知られていない

(d) 呼吸器感作又は皮膚感作

感作は知られていない

(e) 生殖細胞変異原性

変異原性は知られていない。

(f) 発癌性

発癌性は知られていない。

(g) 生殖毒性

生殖毒性は知られていない

(h) STOT-単回暴露

影響は知られていない。

(i) STOT-複数回暴露

影響は知られていない。

(j) 吸引危険有害性

影響は知られていない。

相互作用の影響

相互作用は知られていない

不足データ

-

12. 環境情報

12.1 毒性

環境的な危険有害性には分類されていない。

そのままの生成物用環境データ

データはない。

含有されるコンポーネント用環境データ

製品には、現行の形態又は濃度では、現行の法律に準拠したラベリング表示をもたらすいかなる物質も含まれていない。

12.2 持続性と分解性

データはない。

12.3 生体内累積の可能性

データはない。

12.4 土壌と水中の移動性

水に完全に溶解する

12.5 PBT 及び vPvB 評価の結果

データはない。

12.6 その他の副作用

その他の悪影響は知られていない。

概要

製品は環境リスク有害性に分類されていない。ただし、原液や大量の水が地下水、水路、下水道に達しないようにすること。

13. 廃棄上の注意

13.1 過剰/未使用製品からの廃棄

指令 2000/532/EC に従って、未使用製品は有害廃棄物ではないが、国内及び地方の規制に従わなければならない。

提案される EWC コード:

16 05 09 - 16 05 06、16 05 07 又は 16 05 08 に記載されている以外の廃棄化学物質。

廃棄物

廃棄物は有害廃棄物には分類されないが、国内及び地域の規制に従って処理しなければならない。

廃棄物処理方法

有害廃棄物ではないが、国内及び地域の規制に従って処理しなければならない。

汚染された梱包材

汚染された梱包材は有害廃棄物とは考えられないが、国内及び地域の規制に従って処理しなければならない。

14. 輸送情報

ADR/RID/IMO/DGR に準拠して危険な製品には分類されていない。

14.1 UN 番号

安全性データシート

Rexxip® (共通シート)

14.2 UN 出荷名

14.3 輸送危険有害性クラス

14.4 梱包グループ

14.5 環境危険有害性

14.6 使用者の特別な注意

14.7 Marpol (マーポル) 附属書 II 及び IBC コードによる一括輸送

15. 規制情報

15.1 安全、健康、環境に関する規制/物質又は混合物に関する法律

CLP (規制 830/2015 / EC) に準拠した安全性データシート及び分類。

15.2 化学安全性評価

製品には、化学安全性評価 (CSA) がある (スウェーデン語)。

16. その他情報

H セクション 3 の語句を平易なテキストで

略号の説明

データ用参考文献と情報源

情報源については化学物質安全性評価 (CSA) を参照のこと。

改定の際の変更

バージョン A (2016-11-23): 第 1 版

バージョン B (2018-08-24): ™ から ®へ変更

その他

現在の化学物質安全性データシートは、Gyros AB により、発行日の製品の知識に基づいて定義されている。

このフォームからの

- データを考慮に入れて、すべてのユーザー及びオペレーターに、製品の使用と関連して文書に記載されているリスクに関する適切な安全性データ及び警告を渡し、
- 製品が設計されたもの以外の用途に使用されるときに直面する可能性のあるリスクに注意すること、
- 製品の動作に関する安全性への配慮を自分の責任で行うことは、オペレータの義務である。

本 SDS は、スウェーデン、ソルナ市の Amasis Konsult AB 社の支援を受けて作成された。